

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第2区分  
 【発行日】平成19年12月20日(2007.12.20)

【公開番号】特開2006-117687(P2006-117687A)  
 【公開日】平成18年5月11日(2006.5.11)  
 【年通号数】公開・登録公報2006-018  
 【出願番号】特願2005-346058(P2005-346058)  
 【国際特許分類】

**A 6 1 K 31/353 (2006.01)**  
**A 6 1 P 3/06 (2006.01)**  
**A 6 1 P 3/04 (2006.01)**  
**A 2 3 L 1/30 (2006.01)**  
**A 2 3 L 2/52 (2006.01)**  
**A 2 3 L 2/38 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 K	31/353	
A 6 1 P	3/06	
A 6 1 P	3/04	
A 2 3 L	1/30	Z
A 2 3 L	2/00	F
A 2 3 L	2/38	Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月1日(2007.11.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

非重合体カテキン類からなる蓄積体脂肪燃焼促進剤。

【請求項2】

非重合体カテキン類からなる食事性脂肪燃焼促進剤。

【請求項3】

非重合体カテキン類からなる肝臓酸化遺伝子発現促進剤。

【請求項4】

脂肪の燃焼の機能を有する食品の製造のための非重合体カテキン類中の非エピ体カテキン類及びエピ体カテキン類の使用。

【請求項5】

脂肪の低減の機能を有する食品の製造のための非重合体カテキン類中の非エピ体カテキン類及びエピ体カテキン類の使用。

【請求項6】

脂肪代謝活性化の機能を有する食品の製造のための非重合体カテキン類中の非エピ体カテキン類及びエピ体カテキン類の使用。

【請求項7】

脂肪の分解の機能を有する食品の製造のための非重合体カテキン類中の非エピ体カテキン類及びエピ体カテキン類の使用。

【請求項8】

脂肪が食事性脂肪である請求項 4 ないし 7 のいずれかに記載の非重合体カテキン類中の非エピ体カテキン類及びエピ体カテキン類の使用。

【請求項 9】

脂肪が内臓脂肪である請求項 4 ないし 7 のいずれかに記載の非重合体カテキン類中の非エピ体カテキン類及びエピ体カテキン類の使用。

【請求項 10】

脂肪の燃焼の機能のための非重合体カテキン類中の非エピ体カテキン類及びエピ体カテキン類の使用。

【請求項 11】

脂肪の低減の機能のための非重合体カテキン類中の非エピ体カテキン類及びエピ体カテキン類の使用。

【請求項 12】

脂肪代謝活性化のための非重合体カテキン類中の非エピ体カテキン類及びエピ体カテキン類の使用。

【請求項 13】

脂肪を分解するための非重合体カテキン類中の非エピ体カテキン類及びエピ体カテキン類の使用。

【請求項 14】

脂肪が食事性脂肪である請求項 10 ないし 13 のいずれかに記載の非重合体カテキン類中の非エピ体カテキン類及びエピ体カテキン類の使用。

【請求項 15】

脂肪が内臓脂肪である請求項 10 ないし 13 のいずれかに記載の非重合体カテキン類中の非エピ体カテキン類及びエピ体カテキン類の使用。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、体内に貯えられた脂肪を燃やす蓄積体脂肪燃焼促進剤、食した脂肪を燃やす食事性脂肪燃焼促進剤、肝臓の酸化関連分子の発現が誘導され脂肪代謝が活性化される肝臓酸化遺伝子発現促進剤、また、脂肪を燃焼し腹部への脂肪蓄積を低減する効果を発現し、普段の食生活の中で毎日無理なく安心して継続摂取できる健康食品を提供することにある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は、非重合体カテキン類からなる蓄積体脂肪燃焼促進剤、食事性脂肪燃焼促進剤、肝臓酸化遺伝子発現促進剤を提供するものである。また本発明は、脂肪の燃焼等の機能を有する食品の製造のための非重合体カテキン類中の非エピ体カテキン類及びエピ体カテキン類の使用、さらに脂肪の燃焼の機能のための非重合体カテキン類中の非エピ体カテキン類及びエピ体カテキン類の使用に係るものである。